公明わらび

2017 新年号　── 発行　戸田総支部　蕨支部 ──

迎春

公明党埼玉県本部代表 参議院議員

西田 実仁（まこと）

皆様におかれましては、健やかに、新年をお迎えなさったことと、心からお慶び申し上げます。昨年は、皆様の温かいご支援を賜り、再び国政へと送り出していただきました。報恩感謝の思いで精一杯、働いて参る所存です。公明党は、一人一人の心の中に、希望をともす政治を目指し、どこまでも皆様とともに、歩んで参ります。どうか、この一年も、ご指導を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

公明党蕨市議団

市議会議員
松本　徹
☎ 446-2093

市議会議員
高橋悦朗
☎ 443-9110

市議会議員
大石幸一
☎ 432-2450

新年あけましておめでとうございます

謹んで新春のお喜びを申し上げます。輝かしい新年を迎え、皆様のご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。私ども公明党議員は、「生活者のための政治」を実現するため、市民意識の変化をしっかりと受け止め、不変の原点である「大衆とともに」の立党精神を胸に刻み、今年も全力で皆様のお役に立てるよう活動して参ります。皆様にとって、幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

平成 29 年正月

一般質問

松本　徹 議員

平成29年度の予算編成について

質　問　基本方針について

答　弁　平成 29 年度予算については、最少の経費で最大の効果を挙げることを前提とした施策・制度の抜本的見直しを図るとともに、「安心とにぎわい、みんなにあたたかい、日本一のコンパクトシティ蕨」の実現を目指して編成することを基本方針としております。

質　問　今後の財政見通しについて

答　弁　少子高齢化の進展に伴い、生産年齢人口の減少等による市税収入の減、人口減少対策や少子化対策などのさまざまな行政課題への取り組みによる、経常的経費の増加が見込まれます。さらに、優先課題である公共施設の耐震化や土地開発公社の経営健全化などにも多額の財源が必要とされるほか、市債の元利償還金の増などもあって、極めて厳しい状況が見込まれるところであります。

公共施設等総合管理計画について

質　問　策定の進捗状況について

答　弁　「蕨市公共施設等マネジメント白書」を基礎資料として、公共施設の保全・管理計画策定についての実績がある建設コンサルタントの支援も得ながら、現況の整理や各課照会等を経て素案を作成し「蕨市経営戦略推進本部行財政運営部会」において検討を行っております。

質　問　市庁舎、市立病院の耐震化整備の検討について

答　弁　現在策定中の総合管理計画の策定と併行して「庁舎整備検討委員会」において、「現庁舎の耐震改修」を「在来工法」と「免震工法」に、「庁舎の建て替え」を「現在地」と「別敷地」に分けた４つのパターンを基本として、複数のケースを想定し、他市の事例等も参考に、耐震性能、事業期間、概算事業費、継続使用可能年数やメリット、デメリットについて検討を行っております。
「市立病院」については、将来にわたって機能を維持できるよう、施設のライフサイクルコスト等も考慮しつつ、耐震化に向けた対策を早急に検討する必要があるものと考えております。

昨年３月に国より認定を受けた中心市街地活性化基本計画について

質　問　中心市街地活性化基本計画について

答　弁　計画に位置付けた全 42 事業のうち、17 事業が実施済みまたは実施中であり、進ちょく率は約 40％であります。主な事業として、東口コミュニティショッピング道路整備事業、10 月 17 日から、店舗運営体験とカフェ機能を併設した「クアッカ　わらびチャレンジレストラン」として再開いたしました。飲食店開業を目指す人が一週間単位で施設を利用することができ、店舗運営を体験することで、市内創業につなげていきたいと考えております。

質　問　今後の計画について

答　弁　歴史民俗資料館分館を活用した、蕨宿“食”の交流拠点整備事業は、実施主体である「まち連」と地元商店街を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、検討を進めており、分館を拠点として商店街に人々の回遊性が生まれるように取り組んでいるところであります。

高橋　悦朗 議員

地域包括ケアシステムの構築に向けた考え方について

質　問　地域福祉の視点に立った地域包括ケアシステムの構築について、システム面、サービス面をどのように考え進めてきているのか。

答　弁　システム構築に向けて、医療と介護の連携、認知症施策の推進、介護予防、生活支援サービスの充実を図っています。個別相談の充実、オレンジカフェの開所、生活支援コーディネーターの配置と生活支援サービスの開発、「いきいき百歳体操」を中心とした高齢者の通いの場づくりを進めている。

質　問　社会福祉協議会の役割と今後の協議についてはどのようか。

答　弁　社会福祉協議会は、市民の福祉増進のため、地域包括支援センターや居宅介護支援センターの運営、訪問看護・ホームヘルパー派遣業務があります。また、地域の福祉組織や団体への支援やネットワーク構築へ向け大きな力となっている。市においても協議・連携しながら高齢者の見守り、日常生活を支える担い手づくりを進めていきます。

要　望　高齢者中心の考え方だけでなく、地域には、障害者・児、生活困窮者、ひとり親家庭、子育て世代など幅広い方々への支援が必要であり、それをどう支えていくのかが地域福祉の目的であり、問題解決のために市民や地域自治組織、民生・児童委員、社会福祉協議会、ＮＰＯ、ボランティア、地域の事業所など多様な力を集結し、行政と協働し、地域の特性に応じた新しい地域の支え合いが進むことを要望する。

認知症施策について

質　問　認知症高齢者の実態及び相談体制と相談への対応についてはどのようか。

答　弁　厚労省によると６５歳以上の約７人に１人が認知症とされ、市では、高齢者人口が 17,040 人であり、おおよそ 2,400 人の方が認知症を患っていると推計される。相談体制としては、地域包括支援センターや認知症地域支援推進員のほか、市内４つのオレンジカフェにおいても相談でき、その上で、要介

護認定の申請、介護サービス利用等につなげます。

要　望　県も優れた効果を出した自治体の事例を紹介し、介護予防推進の機運を高めたい」と健康長寿埼玉プロジェクトを推奨しています。地域包括ケアシステムの構築を図る一方で、介護保険制度の持続可能性の確保のために介護保険サービスの在り方、地域支援事業として介護軽度者への総合事業など自治体の地域の実状、特性を考えての重点化・効率化を図る必要があると考えます。

アクティブシニアの生きがいについて

質　問　介護ボランティア活動による「介護支援いきいきポイント事業」の導入についてはどのようか。

答　弁　ボランティア活動の活性化や健康維持を狙いとして、活動参加で得たポイントを、品物や地域通貨、福祉サービス利用料に換えられる事業を実施している自治体があることは認識しているが、事例を参考に検討してまいります。

高齢者の運転事故について

質　問　自動車運転免許証返納状況はどのようか。また返納しやすい環境づくりは継続して行われているのか。

答　弁　本市では、平成 27 年の高齢者運転免許証返納者は２２１名となっている。埼玉県警では、自主返納をサポートし、運転経歴証明書の発行をしている。その掲示により協賛事業所で特典を受けられるシルバーサポート制度を実施している。市においても、街頭での啓発、交通安全教室で制度の周知に取り組んでいます。

要　望　アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故防止のため、自動運転システムや自動ブレーキングシステム利用啓発や急発進防止装置（ペダルの見張り番）設置等周知・啓発して頂きたい。

災害時におけるトイレについて

質　問　各家庭における災害時のトイレ備蓄の啓発と周知についてはどのようか。

答　弁　地域防災計画概要版や地震ハザードマップ、わらび防災大学校や出前講座では、水・食料の備蓄と同様に、トイレ処理セット備蓄の重要性について啓発しています。

質　問　避難所となる学校施設へのマンホールトイレの整備についてはどのようか。

答　弁　下水道管直結型のマンホールトイレは、多額の費用を要することから、まずは備蓄を進めているバリアフリートイレやトイレ処理セットの充実を図っていきます。

大石　幸一 議員

小・中学校及び公共施設における防犯対策について

質　問　登下校時において、不審者に嫌がらせを受けた状況はどのようになっているのか

答　弁　声かけ等の事案を含む市内の状況は、昨年度が 19 件、本年度が 11 月末日現在で 8 件であり、県内では、平成 27 年 1 月から 12 月で 2.481 件、28 年 1 月から 10 月末日現在で 2.340 件であります。

質　問　児童生徒が不審者に遭遇した場合の避難行動をどのように指導しているのか。また、通報・報告体制はどのようになっているのか

答　弁　校内で不審者を発見した際、危機管理マニュアルに基づき、児童生徒の安全を最優先に対応いたします。報告体制については、発見者は直ちに管理職に報告し、不審者を興奮させないよう緊急放送による児童生徒の避難指示と警察への通報及び状況により 119 番通報をいたします。尚、児童・生徒が校外で不審者に遭遇した場合、「防犯ブザーを鳴らす」「大声で助けを呼ぶ」、近くのお店や「こども１１０番の家」に助けを求めるよう日常的に指導しています。

質　問　公共施設における防犯対策について、不審者が立ち入った場合の職員の通報・報告・避難誘導体制はどうなっているのか

答　弁　市庁舎の場合、「蕨市庁舎管理規則」に則り職員が適切な対応をし、従わない場合には警察へ通報致します。公共施設の窓口等で職員に危害を加える事態が発生した場合は、職員の安全、庁舎等の秩序の維持を目的とした「不当要求行為等対策要綱」「対応マニュアル」に従い周囲の職員が連携し、利用者や職員の身の安全を確保するとともに、速やかに警察へ通報する等の対応を行っております。

下水管に起因する道路陥没について

質　問　本市の道路陥没は過去５年間でどのくらい起きているのか。また、原因とそれに係わる経費はどの程度になっているのか。

答　弁　平成 23 年度から 27 年度までの 5 年間で道路陥没は、72 件発生しており年平均 14 ～ 15 件です。主な原因は、下水道の本管部分ではなく、取付管と呼ばれる、汚水桝や雨水桝と本管とを結ぶ部分が、経年劣化により管の割れや継ぎ手のずれなどの損傷から周辺土砂が下水道管内に流入し、陥没が発生しているものである。その改修経費は、約 4 百万円です。

質　問　老朽化した陶管を原因とする道路陥没は、全体の何割程度か。

答　弁　72 件の陥没のうち、そのほとんどが、陶管の取付管部分であります。

質　問　現在、市内の下水管で陶管を使用している割合はどの程度か。また、今後の対応はどのようか。

答　弁　水道本管部分では、ほとんどないが、取付管は概ね 4 割程度と推定しています。今後の対応としては、陶管の劣化により陥没の発生が懸念されるので、管渠清掃等で劣化状態を把握します。合わせて、下水道管路の長寿命化計画で本管の対策と取付管についても調査を実施し、必要に応じて改築・修繕等の対応をしていきます。

「第 11 回公明党蕨支部大会」開催

11 月 2 日、公明党蕨市議団は、蕨市民会館にて「第 11 回公明党蕨支部大会」を開催させていただき、大勢の党員・支持者の方にご参集いただき、盛況の下に幕を閉じました。

来賓として岡本三成衆議院議員に、国政報告・活動状況を話して頂き、その後、支部長より大会宣言、今後の蕨の活動方針、重点政策を議題とし、全員賛成の下、承認されました。

今後とも蕨市議団、力を合わせ「大衆とともに」の結党の原点に基づき、「一人を大切に」、現場第一主義で開かれた政党として地域に活動の根を張り、民意を対話の中に求め、人間性豊かな福祉社会の建設と郷土わらびの繁栄のため頑張ってまいります。

平成29年度当初予算に関する予算要望（156項目）を実施

平成 28 年 11 月 25 日（金）に公明党蕨市議団として 156 項目にわたる「平成 29 年度当初予算に関する要望書」を蕨市長に提出致しました。

重点事業を「市庁舎・市立病院建て替えの強力な推進」「福祉緊急通報システムの改善と人感センサーの導入」「学校ＩＣＴ化の実現」「街頭防犯防止の強化（商店街・通学路・公園等に防犯カメラ・スーパー防犯灯の設置等）」「市役所で障害者インターンシップ制度の推進」「緊急地震通報システムを全ての公共施設に導入を図る」等を実現できるよう強く訴えました。

平成 28 年度 12 月議会閉会

平成 28 年第 5 回定例議会が、平成 28 年 11 月 28 日（月）より、12 月 16 日（金）までの 19 日間の会期日程で実施されました。

12 月議会は、市長提出議案 13 件、議員提出議案 3 件、陳情 1 件について、審議を致しました。

公明党市議団としては、今議会は平成 29 年度予算に大きく影響を与える議会であることから、住みよい活力のある街づくりを目指し、生活者優先の立場で、各常任委員会審議・一般質問等の論戦を展開致しました。

その後、討論・採決が行われ閉会致しました。

お知らせ

現在、蕨市議会のホームページで本会議のライブ中継と録画放送を行っております。蕨市公明党のホームページと併せてご覧下さい（一般質問も全て収録されております）。

http://www.komei-warabi.com

「公明党蕨支部」「蕨市公明党」 検索